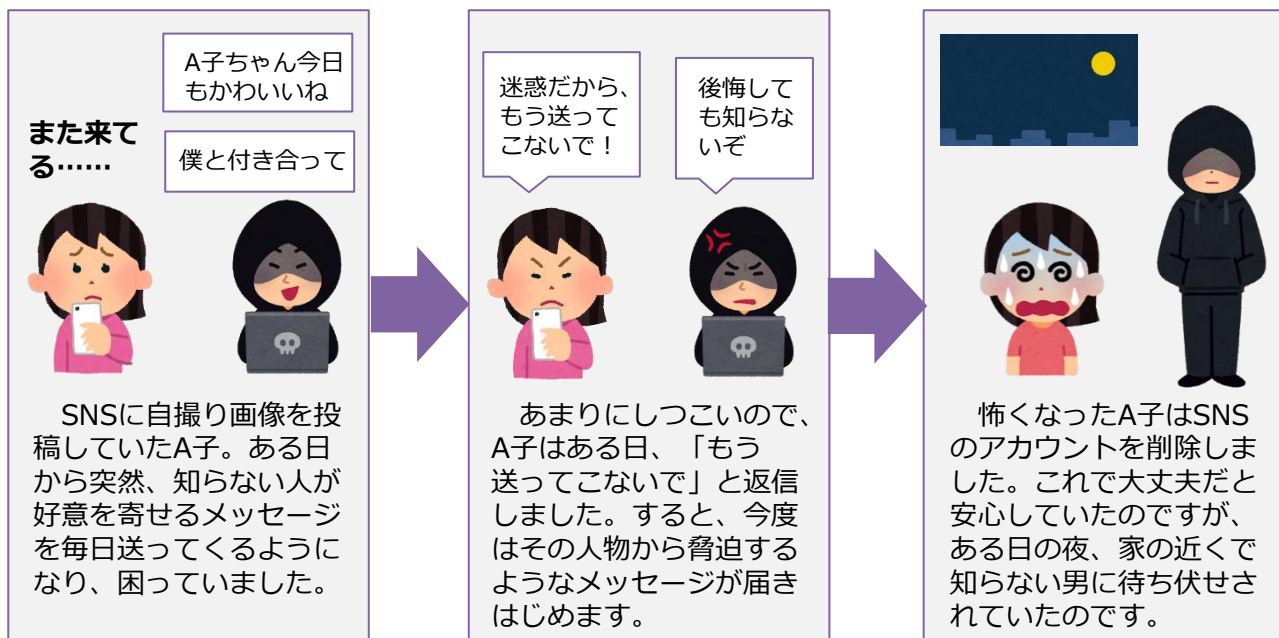


ネットストーカーの実態について

インターネットを使って特定の人にしつこくつきまとう、ネットストーカーによるトラブルが増加しています。ネットストーカーによる被害はさまざまで、インターネット上だけにとどまらず、実生活にまで被害が及んでしまうこともあります。

ネットストーカーは具体的にどのようなことを行うのか

ネットストーカーは実際にどのようなことを行うのか、ここではSNSを利用していた人が被害にあった例をひとつ紹介します。



ネットストーカーがストーキング行為をはじめるときっかけはさまざまです。たまたま顔写真を見たり、インターネット上でやりとりしたりしたことから好意を抱き、ネットストーカーになることもあれば、SNSなどの投稿に反感を抱き、嫌がらせ目的でストーキング行為をはじめるといったケースもあります。



他にも、ネットストーカーによる被害には以下のようなものがあります

- 匿名掲示板に誹謗中傷を書き込まれる
- 過去の投稿などから個人情報を特定され、さまざまなサイトに掲載される
- 自分になりすましたアカウントを作成され、不適切な書き込みをされる
- 卑猥なメッセージや画像・動画を送りつけられる



もしネットストーカーの被害にあっても、絶対にメッセージを送り返してはいけません。証拠として相手の書き込みを保存し、すぐに周りの大人たちに話して、警察等に相談してください。また、ネットストーカーの被害にあう危険性を減らすために、自分や友だちの個人情報はインターネットに載せないように注意しましょう。